

コンテナ環境で使えるIBMとRed Hatのストレージソリューションを自由に使えるお得なバンドル・オファリング



IBM Cloud Paks による OpenShift のコンテナ環境に最適なストレージ・ソリューションを提供
主要なコンテナ対応ストレージ・ソフトウェアをバンドルし、ワークロードの変化に柔軟に対応可能

コンテナ環境のストレージ選択にお悩みはありませんか？

複数のコンテナ対応ストレージのなかで何が最適なのか分からない

- ・まずは検証環境でいろいろ試してみたい
- ・コンテナのアプリケーションの詳細がまだ決まっていない

今後様々なワークロードでコンテナ対応を進めていく必要がある

- ・クラウド上のストレージにもオンプレミス並みの機能性がほしい
- ・コンテナならではの柔軟性を有効に活用したい

クラウドとオンプレミスを連携したハイブリッド・マルチクラウドに対応したい

- ・ストレージのタイプを問わず必要なデータリソースを柔軟に活用したい
- ・サイバーセキュリティやデータ保全性を考慮したストレージ基盤を運用したい



IBM Storage Suite for IBM Cloud Paks が実現します。

IBM Cloud Paks 環境向けに Red Hat と IBM Spectrum シリーズのコンテナ対応ストレージ・ソリューションをバンドルして提供し、様々なワークロードに柔軟に対応可能です。

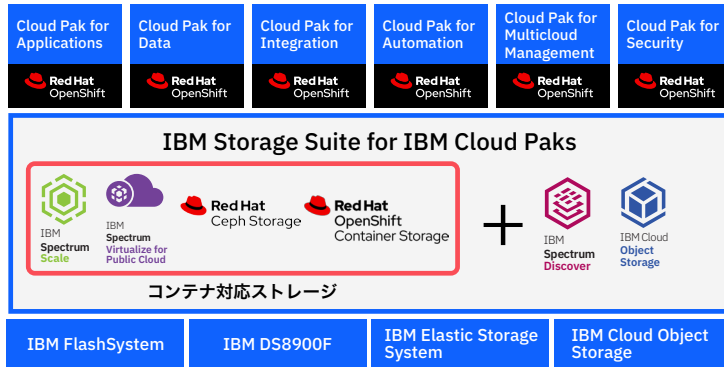
- 複数のストレージ・ソリューションを自由に組み合わせ検証可能
- 将来のワークロードに合わせて最適なストレージ・ソリューションへ柔軟に対応可能
- マルチクラウド対応ストレージ・ソリューションでデータ連携も容易に可能

IBM Storage Suite for IBM Cloud Paks で柔軟なコンテナ対応ストレージ・ソリューションを提供



4つのコンテナ対応ストレージと2つのSDSソリューション

IBM Cloud Paks の OpenShift コンテナ環境向けに6種類のストレージ・ソリューションをバンドルした柔軟で経済的なソフトウェア製品



- 要件に応じたストレージ・ソリューションを選択可能
- ワークロードに合わせてブロック、ファイル、オブジェクトに対応
- ニーズの変化に応じてソリューションの組み換えも可能
- Kubernetes、Red Hat OpenShift と IBM で検証済み
- ソフトウェアサポート窓口は IBM

用途に応じた2つのエディション

■ 利用環境に応じて選択もしくは併用可能で最適なストレージ基盤を提供

Standard Edition 開発・検証環境や OpenShift Container Storage の利用向け

Capacity Edition Red Hat Ceph や Spectrum Virtualize for Public Cloud による大容量ストレージ向け

■ カテゴリーごとにライセンス数まで利用可能なお得な料金体系

OpenShift Container Storage と共に Ceph や Spectrum Virtualize、Spectrum Discover などが複数のストレージ・ソフトウェアを同時に利用可能

ライセンス 24VPC (Virtual Processor Core) の例

MANAGEMENT ORCHESTRATION	+Red Hat OpenShift Container Storage
+	
CAPACITY	+Red Hat Ceph +Spectrum Virtualize for Public Cloud +Spectrum Scale +Cloud Object Storage
+	
METADATA TAGGING	+Spectrum Discover

Standard Editionの場合 (1VPC=2TB)

24 VPC OpenShift Container Storage
* OCS最小構成(16vCPU 3ノード)と同等構成
+
24 TB Red Hat Ceph
24 TB Spectrum Virtualize for Public Cloud
+
48 TB Spectrum Discover

Capacity Editionの場合 (1VPC=20TB)

24 VPC OpenShift Container Storage
* OCS最小構成(16vCPU 3ノード)と同等構成
+
240 TB Red Hat Ceph
240 TB Spectrum Virtualize for Public Cloud
+
480 TB Spectrum Discover

ハイブリッド・マルチクラウドに対応

■ オンプレミスとパブリッククラウド上のコンテナ対応ストレージ

■ データ連携により必要なデータリソースを活用



日本アイ・ビー・エム株式会社

IBM、IBM ロゴ、ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標があります。現時点での IBM の商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtml (US) をご覧ください。この情報は2020年7月現在のものです。掲載の製品仕様・価格は予告なく変更される場合があります。